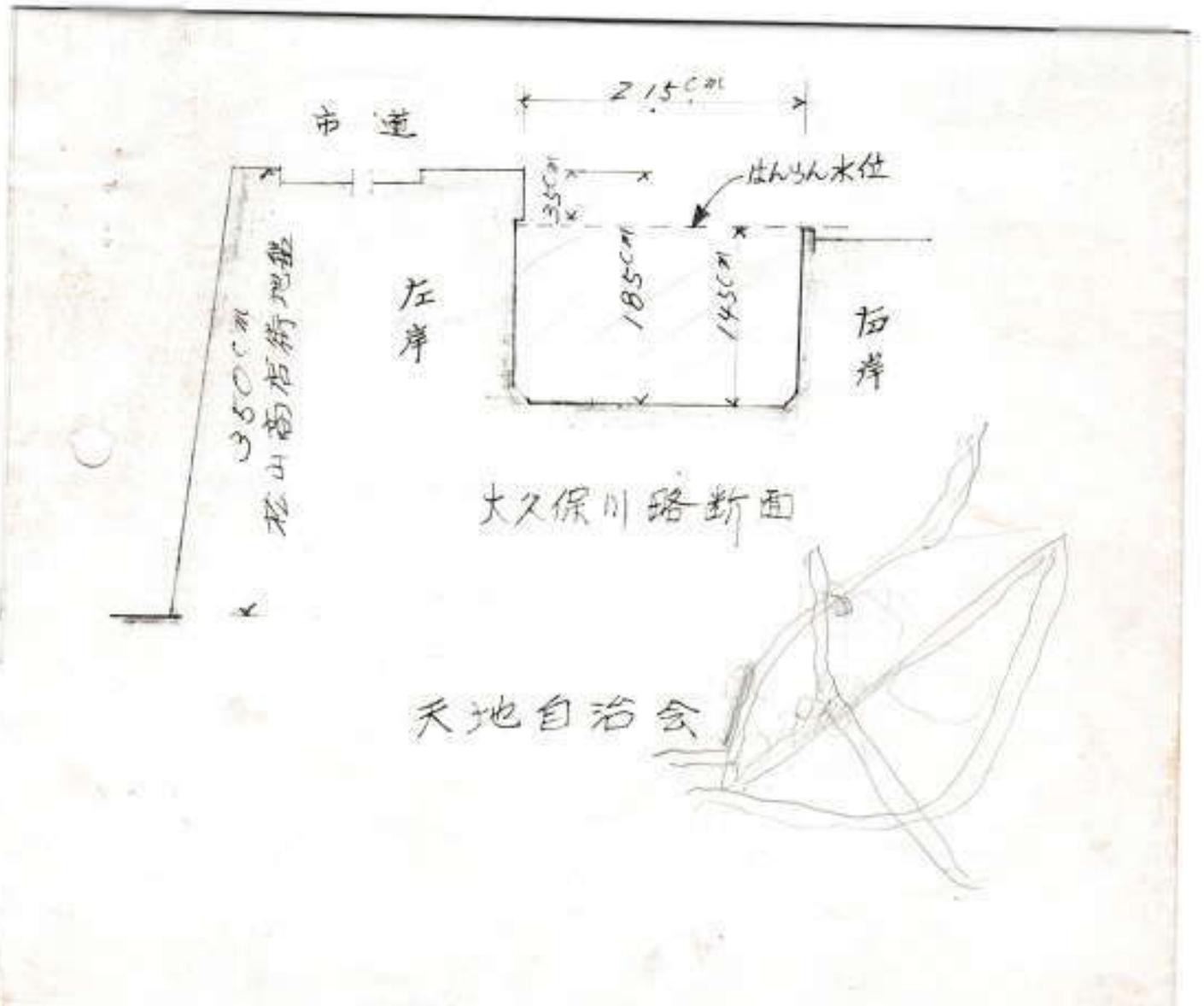


# 大久保川 氾濫

記録写真

(高石氏撮影)

昭和56年6月末日



昭和56年6月の大雨時に大久保川が氾濫した。その時の現場写真を高石氏が雨の中を撮影された記録写真である。

写真に見られるように農地側に溢水して民家の敷地に流入し、市道にあと40cmで浸水する状態であった。

当時の雨量については正確な資料はないが、30mm程度ではなかったかと推察される（気象庁記録では当時の6月26日は184mmの雨量であった）。この位の雨でこのような事では、この3倍も4倍もの大雨が予想される今頃 その時のことを思えば身の毛のよだつ思いである。

現大久保川の略断面は表紙の通り、深さ185cm×215cmで断面は約4㎡であり、この間の雨で深さは150cm×215cm 約3.1㎡であり、川断面の3/4の水量であった。残る断面は1/4しかない。これでは住民の不安は大きなものである。よって至急 応急対策（右岸を市道の高さまでコンクリート等で嵩上げする）をするとともに根本的な強雨時の流出水量と川断面面積を詳細調査し大久保川の大改造をすべきである。

市当局が実施した梅ヶ丘団地造成のために新設された大久保川がこのようなことでは、民間造成地への影響は大きく、また住民の市政への不信、不満につながります。

No

平常時



.....  
.....  
.....  
.....  
.....

No. 2

はんさん時



.....  
.....  
.....  
.....

No. 3

はんさん時



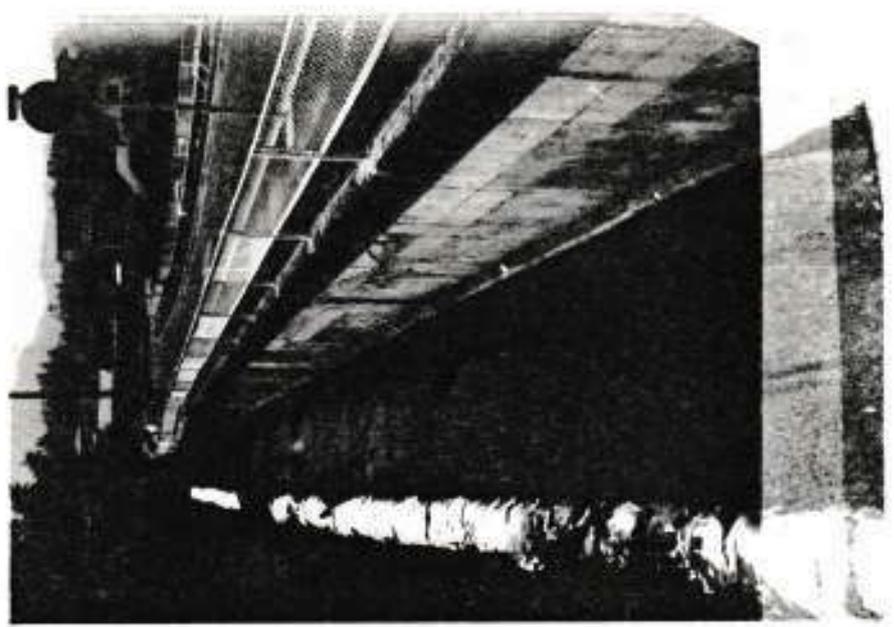
.....  
.....  
.....

4

No. 4

平常時

川下側  
カマヤ  
左岸側  
土俵かつて  
河川が浅く  
狭い



30

No. 5

はんらん時

大々深り  
増水した岸  
右岸上り  
約40cm



30

No. 6

はんらん時

右岸側  
河川が浅く  
急流  
約40cm



5

No. \_\_\_\_\_

はんらん前



No. 8

はんらん時



No. 9

はんらん時

気大 谷口  
中 谷口  
下 谷口

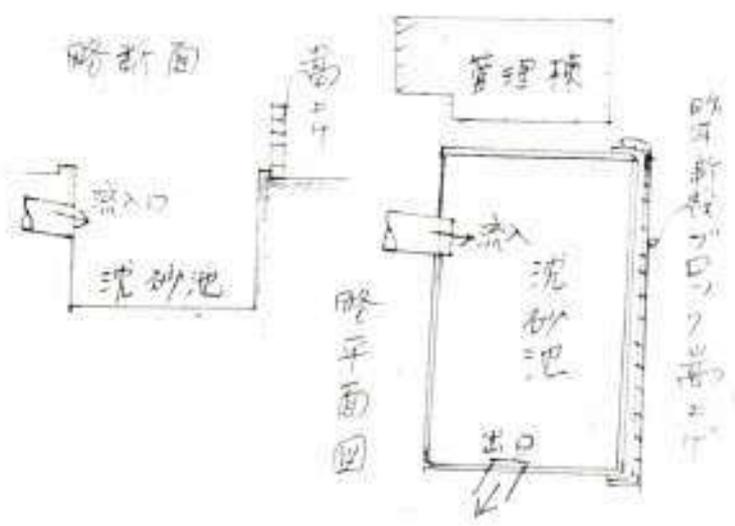


No. \_\_\_\_\_

はんろん時  
L-2F同地  
汚水処理  
管理棟敷地  
浸水



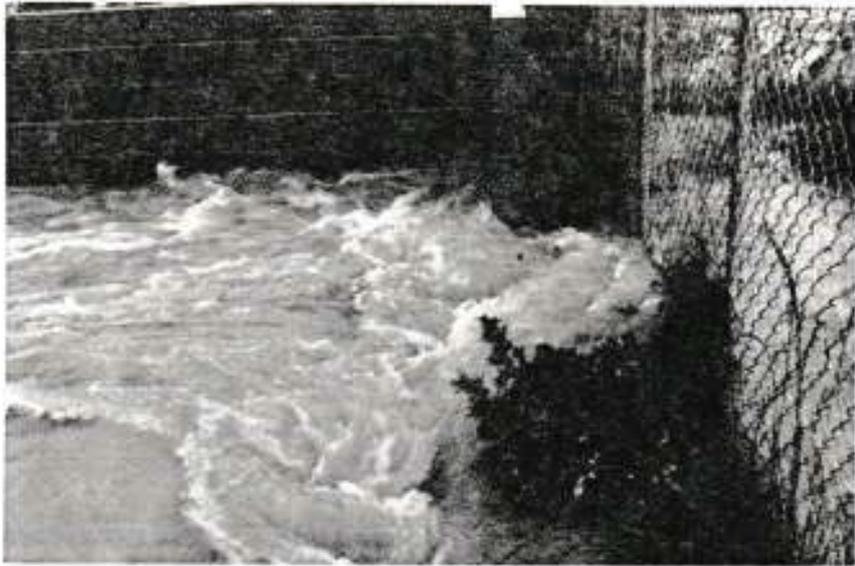
No. 11



No. 12

はんろん時  
沈砂池  
溢水  
汚水処理  
管理棟敷地  
浸水





No. 7

住人引時

トニシ池砂池

高上川

田辺天

池上川



No. 4

住人引時

トニシ池砂池



No. 15

住人引時

トニシ池砂池

2

2

No. \_\_\_\_\_

はんろん町

ポンプ場



No. \_\_\_\_\_

ポンプ場

揚水不足か？ 整備不良か？

とにかく水は付近に溜滞し県道より

梅ヶ丘団地入口交差点付近は、一時

車両通行不能となった。

No. \_\_\_\_\_